

仮設住宅にお住いの方へのアンケート結果まとめ

やっぺ南相馬と東北コミュニティの未来・志縁プロジェクトは共同で、牛河内第一仮設住宅にお住いの方々に、以下のアンケートを実施しましたので報告いたします。

【アンケート趣旨】；

仮設住宅で不自由な生活を送られている方々にその生活やご意見を伺い、南相馬での活動や、まとまれば行政にもつなげていくことで、ご支援できないかと考え、以下のアンケートを実施した。

- ・無記名で、いただいた回答は、個人が特定化できないよう統計的に処理
- ・多様な意見や思いを吸い上げるべく書き込み形式欄を多く設けた。また、項目も14と多いため、「回答できる項目のみの記述でも、けっこうです。」とお願いした。

【アンケート配付と回収】；

1月末に150戸に配付しし、2月12日期限で回収した。

牛河内第一仮設住宅は働いておられる方が多く、自治会長も働いておられるため、仮設の集会所と談話室に回収箱を用意した。また、和みサロン「真ころ」でも回収受付した。

【アンケート結果】：

- ・回答数 31 (回収率 21%)

◆1：南相馬市（ ）区から避難してきている

鹿島区— 31

◆2：家族構成（名）

(A) 家族構成の回答数： 30 (回答なし；1)

1人—4世帯 2人— 16 3人—6 4人—4

(平均家族数=2.3人)

(B) 家族構成年代別回答数は 29 (回答なし；2)

①0歳～就学前— 0 ②小学生— 3世帯(子供数5人) ③中学生— 1(1人)

④30歳代以下(①～③除く)— 12(16人) ⑤40歳代～50歳代— 15(20人)

⑥60才以上— 20(30人)

(A) ⇔ (B) の間で数字の合わない世帯あり。

◆3：生計(複数回答可) 回答あり；29 (回答なし；2)

社員として働いている— 15

アルバイト— 4 年金— 14

雇用保険、等— 4

◆4：仮設生活で困っていることは（二点まで）

書き込み形式回答欄に記入のあったのは、24 世帯

結露—12（結露 特に鉄骨部分がひどい、結露が多く、ふき取りをしている（鉄骨、窓）、朝起きると、フタンの敷いたところが湿気で濡れて困っている、結露によって室内にある鉄筋むき出しのところ錆びてきている）

狭い—8（部屋が狭い、部屋数が少ない、せまくて物を置く所がない（収納）、風呂場、洗面所が狭い）

寒い—6（夏は暑さが、冬は寒さが厳しい、各所に凍結が生じ、毎日朝の生活にたいへん支障を招いている、台所、トイレ、風呂と水回りがすごく寒いし、浴槽のお湯の温度がすぐ下がる）

騒音—2（子供がいるので、隣のお宅に声や物音などが響き迷惑をかけているのでは、隣人の夜遅くまでの（夜中の 12 時）話し声、生活音で、ストレスから睡眠不足）

他は、各 1 世帯— 隣人のたばこの臭いがひどい、野良猫に食べ物を与えている、会社勤めなので仮設住宅での工事や物資の受け取り、など

◆5：仮設での交流

①避難者同士の交流— 回答あり；30 回答なし；1

被災前と同程度ある—3 そこそこある—16

あまりない—6 ない—5

②受入れ先住民との交流— 回答あり；25 回答なし；6

ある— 8 ない—17

【ご意見など】—

ごく自然に、無理はダメ、続かない。

昼間働いているので、皆の顔がわからない。

◆6：和みサロンの利用— 回答あり；29 回答なし；2

利用している— 13 利用したことがない— 16

【ご感想・ご意見など】—

お茶、コーヒーサービスで電気をかけることができてありがたい。

毎日いつも行っていますが、心が安らぐ所です。

年上の人が多くて、入りにくい。利用したいのですが。

利用者が特定一部、偏っていないか？ 広範囲で広く利用をPRを！

◆7：気分が落ち込む時の有無回答— 回答あり；31 回答なし；0

多い—5 時々ある—18 あまりない—8 ない—0

【思い、心のケアの希望など】—

「多い」回答者は、「眠れない日が多く、うつ状態の時もある。薬を飲んでも、酒を飲んでもいまいち。同じ地区の人と話をする、まぎれる。」

「時々ある」の方—「若い人たちが（家族）借金をして家を建てる不安は、何とも言い
ようがありません」や「心のケアが必要なほどではない」

「あまりない」の方—「我慢かな？考えないこと→自分に言っている」「自分の力で
なければ、解決できない」と自分の力で乗り越えるべき、との意見も。

◆ 8：支援物資についてのご意見— 自由書き込み形式 回答者数；22

ありがたい、感謝— 15

平等な配布を希望— 6 （平日は仕事の為いないので、休日がいい）

日常消耗品を希望— 4 （食品、米、水、缶詰、トイレットペーパーなど）

具体的な提言も—「本当に必要なものを定期的に集め配布してほしい。物資の要望を取りまと
めたり、必要な物を必要な人々に届けてほしい」。

◆ 9：イベント— ご要望・ご意見など — 自由書き込み形式 回答者数；9

「無理のない範囲で。参加に苦痛を伴っては意味がない。ごく普通程度で」「楽しいことができ
ればよい」の一方で、

「イベント漬けやイベントの押し売りはやめてほしい」「興味を示す物が無い」

また、働いている方が多いので、「イベントは日曜日にしてほしい」の意見も。

◆ 10：将来の展望について(家や収入、等) — 回答あり；29 回答なし；2

見えている—3

見えない—26

【課題など】—

「見えている」の人— 「従前の宅地、田畑の処分 or 利用について、早期の行政方針を望む」
「収入は少ないが、家を建てる計画を進めているが、借りたローンが払えるか、心配？」

「見えない」の人—

・元の土地の買い取りや代替地の確定など方針が決まらない；6

（従前の宅地、田畑の処分 or 利用について、早期の行政方針を望む。移転するにして
も、元の土地の買い取りが不明では具体化できない。集団移転地への家（土地のこと）

・原発見通しへの不安からでどこに住めるか、家を建ててよいのか等の課題；4

（放射能、津波の心配で南相馬市内の移住が決められない。）

◆ 11：田畑のある方の今後の耕作方針— 回答あり；28

耕作したい—6

しない—22

【課題など】—

「耕作したい」の人—「農機具、田畑は津波でやられ、耕作はしたいが、見通しが無い」

「一部津波被害に遭わない部分について、健康維持のため耕作したいが、機具その
他購入、保管場所等を考えると不安」「除塩、ガレキの撤去、圃場の整備」

「耕作しない」の人— 津波で農機具が流出；3

「離農して土地（農地）代を宅地購入、住宅資産にしたい」

「復興が遅いので」「見込みがないから」「塩害で耕作できない」

◆ 12：放射能— 回答あり；31 回答なし；0

- ①口気にはなるが、ふだんは意識せずに暮らしている— 18 (58%)
- ②食べ物、水に注意している（なるべく地元産は食べない）— 15 (48%)
- ③健康被害が起きるのでは、と不安でしかたがない。— 6 (17%)

① ②③は複数回答あり（家族でも個人別に異なる見解もあるのだろう）

【放射能についてのご意見など】—

信頼できる情報を隠さずに、測定して開示を；8

（原発の安全に関する情報が信用できない、信頼できる情報を知りたい。
公的情報もマスコミ情報も本当に信頼していいのか、疑問もある。
早く安心して生活できるように努力して発表してほしい（隠さないで）。
測定器を少なくとも各行政区に1台ずつ配って。
地元産の野菜を食べたいが、安全かどうか、本当のことを知りたい。）

気にせず暮らせる日を早く実現してほしい；4

（放射能を気にしないで住めるように手を打ってほしい。
気にせず暮らせる日が早く来てほしい。）

「まったくわからないので、気のつけようがない。」

「原子力発電の不安のため、南相馬市に希望がもてない。」の意見も。

◆ 13：行政への要望— 自由書き込み形式 回答者数；21

主なものは—

- ①□先々の展望を早く示して— 8（復興政策を適切に、迅速に。土地方針の早期決定、交通網の整備を急いで。集団移転事業の円滑な促進・早期方向決定を。集団移転の農地を早急にしてもらいたい。復興住宅（公営）を急ぐべき。）
- ②仮設関連（設備、運営）— 6（結露対策を、空いている部屋を提供して、タイヤなどの置場、使いやすい鍵に、動物禁止の徹底を、等）
- ③義捐金の配布を平等に— 2（南相馬市一律に、世帯ではなく一人一人に配付を）

◆ 14：その他（以上で述べきれないことがございましたら、何なりと）—

自由書き込み形式 回答者数；11

「南相馬市に小児科医院がなく、小さい子供が病気になっても医者にかかれない。」

「仮設暮らし、すべてに感謝。日本国家はありがたいよ」

「不安の毎日で、望みはあってもどうにもならない。いっそ津波で死んでしまった方が苦勞せずに良かったのでは、今、時々思うことは事実です」

「支援に感謝しますが、自立を促すような取り組みが必要と思われまます。」

以上。